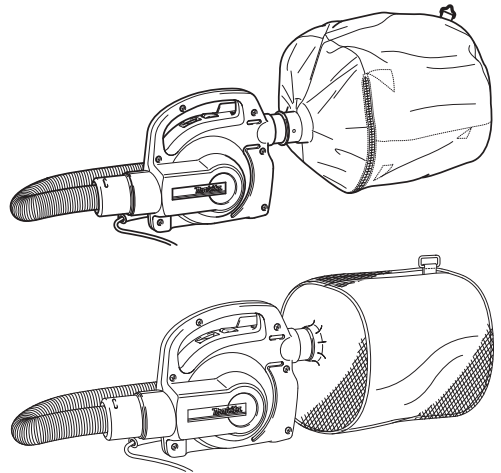


Makita

取扱説明書

小型集じん機 携帯用集じん機

モデル **450(P)/451(P)**
(粉じん専用)



本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは小型集じん機、携帯用集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 本製品の使用上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	13
・ 別販売品のご紹介	14
・ 使い方	21
・ 作業前の準備	21
・ 紙パック（ペーパーフィルタ）の取り付け方（モデル 451 のみ）	21
・ ダストバッグ・メッシュカバーの取り付け方	22
・ ショルダベルトの取り付け方（モデル 451 のみ）	23
・ ショルダベルトの調整	23
・ ホースの接続方法	23
・ フロントカフスの取り替え方	24
・ スイッチの操作	24
・ 連動用コンセントの使い方	25
・ 作業方法	27
・ ホルダの取り付け方法	27
・ 粉じんの捨て方	27
・ ダストバッグ（布製）の使い方（モデル 450 のみ）	28
・ 保守・点検について	29
・ フィルタの掃除	29
・ カーボンブラシの交換	30
・ 本製品のお手入れ	30
・ ご修理の際は	30




主要機能

主要機能 \ モデル	450 (P)	451 (P)
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100 V	
電流	5.5 A	
周波数	50-60 Hz	
消費電力	Hi : 520 W/Lo : 240 W	
最大風量	3.2 m ³ /min	
最大真空度	Hi : 5.6 kPa (570 mmH ₂ O) Lo : 2.6 kPa (270 mmH ₂ O)	
吸い込み仕事率	(Hi : 33 W/Lo : 10 W) / (Hi : 44 W/Lo : 14 W)	
集じん量	6.6 L (重さ 3 kg まで)	4.4 L (重さ 2 kg まで)
本製品寸法	長さ 268 mm × 幅 180 mm × 高さ 228 mm	
質量	2.4 kg	
連動用コンセント (接続可能な電動工具 の消費電力)	Hi : 100 ~ 900 W Lo : 100 ~ 1,100 W	

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときには、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかりと固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

本製品の使用上のご注意

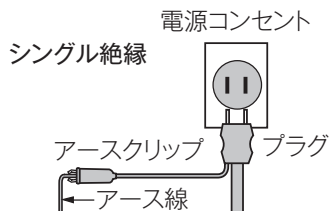
JPB109-8

- 先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、電動工具用携帯用集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

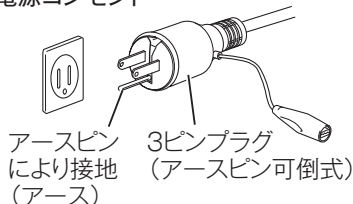
1. 必ず接地（アース）してください。

- 故障や漏電の時、感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。



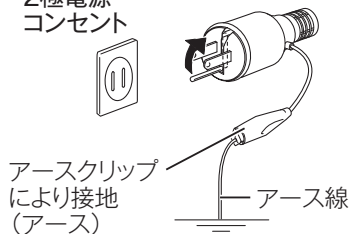
- アース付（3ピン）電源コンセントの場合 3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）

アース付（3ピン） 電源コンセント



- 2極電源コンセントの場合 アースクリップをアース線に接続してください。
- アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条

2極電源 コンセント



2. アース線をガス管に接続しないでください。

- 爆発の恐れがあります。

3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。

- アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

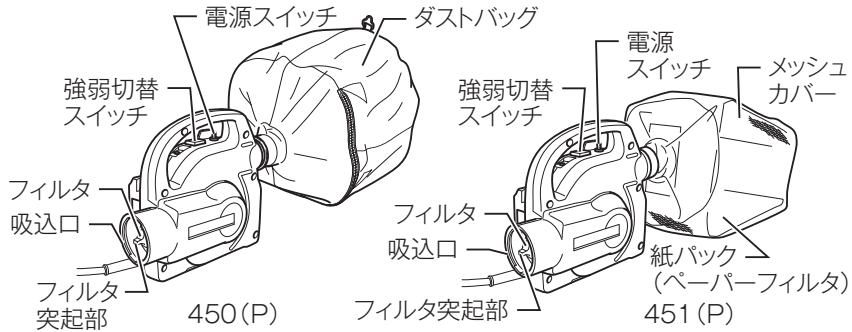
⚠ 警告

4. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
5. 以下のものは吸わせないでください。
 - ・ 火のついた、たばこの吸殻など高温のもの
 - ・ 引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセニンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）
 - ・ 火災の原因となります。
6. 木片、金属、石及び釘、ガラス、カミソリ、押しピンなどの鋭利な物を吸わせないでください。
 - ・ けがや故障の原因となります。
7. 人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質は吸わせないでください。
8. 本製品の吸込口や排出口には手を入れないようにしてください。
 - ・ けがの原因になります。
9. 吸込口や排出口をふさいで運転しないでください。
 - ・ モーターが焼損し、火災の原因になります。
10. ホースの着脱は、ファンの回転が完全に停止してから行ってください。
 - ・ 回転中に行いますと、けがの原因になります。
11. 水・湿ったごみなどは吸い込まないでください。
 - ・ モーターの故障の原因となります。
12. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

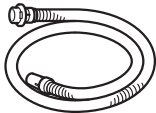
1. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 集じん作業前に必ずダストバッグ（紙パック）が本製品に取り付けられていることを確認してください。
 - ・ けがや故障の原因になります。
3. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本体の変形の原因になります。

各部の名称および標準付属品

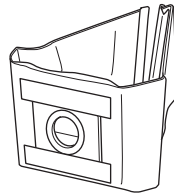


標準付属品

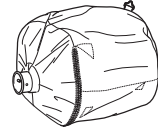
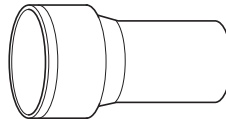
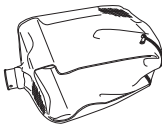
- ・ ホースコンプリートセット品 28-5.0 (450のみ) (部品番号:A-34229)
- ・ ホースコンプリートセット品 28-1.5 (451のみ) (部品番号:A-34235)
- ・ 紙パックセット品(451のみ) (ペーパーフィルタセット品) (5枚入) (部品番号:A-34241)
- ・ ファスナー1個付(451のみ) (部品番号:417786-3)



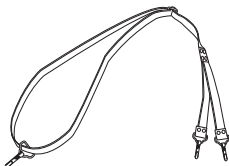
*ホースにはフロントカフス38を取り付けております。



- ・ メッシュカバーコンプリート (451のみ) (部品番号:152991-2)
- ・ フロントカフス22 (部品番号:417765-1)
- ・ ダストバッグコンプリート (450のみ) (部品番号:A-35667)



- ・ ショルダベルト (451のみ) (部品番号:166063-7)
- ・ ホルダ10-33 (450:6個入 451:3個入) (部品番号:417764-3)
- ・ ジョイントH (日立製電動工具との接続用) ※別表をご参考の上、日立製ジョイントが必要なモデルもあります。 (部品番号:424009-2)



別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

集じん機 450 (P) 及び 451 (P) と電動工具の接続方法 (口元ロック式、内径φ 28 のホースを使用する場合)

注

- ・ ※印の電動工具を「連動」で使用すると、本製品側プラグに規定値を越える電流が流れるため、「連動」では使用できません。本製品のプラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。

[] : 部品番号

	適用電動工具 () 内のモデルは生産中止モデルです。	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)	
穴あけ	ボード穴あけカッタ (3706)	集じんカバー [A-34621]	フロントカフス22 [417765-1]	φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]
	ハンマドリル HR161D、HR162D、HR200D (HR2011、HR2411、HR2413、HR2421、 HR1820、HR2400、HR2510、HR160D)	吸じん装置セット品 (小型用 A) [192176-8]		
	ハンマドリル HR1830F/FT、HR2021、HR2440/F、 HR2441、HR2450/F、HR1831FT	吸じん装置セット品 (小型用 B) [193472-7]		
	ハンマドリル HR3520 ※、HR3811 ※、HR3850 ※ (HR3511、HR3520B、HR3850B)	吸じん装置セット品 (大型用) [192175-0]		
	吸じんハンマドリル HR2432、(HR2430)	カフス [414897-5]		

別販売品のご紹介

	適用電動工具	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)	
切 断	4 型カッター (4104A)	ノズル [191548-4]	フロントカフス 38 [417766-9]	φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]
	カッター 4112 ※	エルボジョイント 32 [192613-2]		
	カッター 4109S ※ 10 型カッター (4110B/C) ALC 用カッター 4116 ※			
	スライドマルノコ ※ 卓上マルノコ ※ LS1510 を除く 充電式スライドマルノコ (全機種対応)			
	卓上マルノコ LS1510 ※	ジョイント 40 [JPA122274]		
	マルノコ盤 2703 ※	ジョイント 55 [192799-2]		
	防じんマルノコ 5205FX を除く全機種			
	充電式防じんマルノコ 5036D (5026D/ 木工用)			
	防じんカッター 4123KB ※			
	防じんカッター 4103KBASP、4105KB ※ 4105KC、(4103KB)	エルボジョイント 32 [192613-2]		
	レシプロソー (JR3000V/SP、JR3001、 JR3010)	吸じん装置 アッセンブリ (192090-8)		
	電気マルノコ 5636BA、5637BA、 5836BA、5837BA 電子マルノコ 5638CBA、5838CBA、 電子造作用精密マルノコ 5617CBA、5817CBA	ダストノズル [A-47444]	フロントカフス 22 [417765-1]	
	電気マルノコ 5634BA、5834BA、 (5635BA)、(5835BA) 電子マルノコ 5608CBA、5808CBA、 5633CBA、5833CBA 電子造作用精密マルノコ 5616CBA、5816CBA	ダストノズル [193742-4]		

別販売品のご紹介

	適用電動工具	アタッチメント		ホース (内径 mm × 長さ m)	
切断	5 型マルノコ (500)	ジョイント [192166-1]	ラバース リーブ 18-21 [192202-3]	フロントカフス 22 [417765-1]	φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]
	際切マルノコ 5840BA ※ 内装直角マルノコ 5210L 内装マルノコ 5240L 充電式マルノコ SS520D SS540D 防じんマルノコ 5205FX 充電式防じんマルノコ KS520D、KS521D				
	ジグソー 4325、(4323)				
	電子ジグソー 4340FCT、4342FCT	ダストノズル [417853-4]			
	ジグソー 4306、(4304、4304T)	ノズル [192547-9]	ラバース リーブ 18-21 [192202-3]		
	ジョイントカッタ 3901				

別販売品のご紹介

	適用電動工具	アタッチメント		ホース (内径 mm × 長さ m)
研 削 ・ 研 磨	集じんカバー付ディスクサンダ 9533BSK、(9526BSK) ホイールサンダ 9740 ※、9741 ※			フロントカフス 38 [417766-9]
	コンクリートカンナ PC1100、(PC9001) ベルトサンダ (9401、9402)	エルボジョイント 32 [192613-2]		
	ベルトサンダ (9901)	ジョイント 32 セット品 [192519-4]		
	ベルトサンダ (9900B)	ジョイント 32 セット品 [192518-6]		フロントカフス 22 [417765-1]
	ベルトサンダ 9032	ダストノズルアッセンブリ [122652-8]		
	仕上サンダ (9045N)	ジョイント 22 セット品 [192520-9]		
	仕上サンダ (9036) ベルトサンダ 9031	ラバースリーブ 18-21 [192202-3]		
	コンクリートカンナ PC9003、(PC9002) ベルトサンダ 9911、9403 ※、 9404 ※、9903 ※ 仕上サンダ BO3700、BO4900V ランダムオービットサンダ BO5010、BO5021 オービタルサンダ 9046			
	125mm ディスクグラインダ 9535、9535B (9522、9528/B、9544、9532) 125mm 電子ディスクグラインダ 9535CB、9565CV、(9565C) (ダイヤモンドホイール使用時)	集じんアタッチメント [192618-2]		
	100mm ディスクグラインダ 9533/9526 シリーズ 9553B、9539B (9520・9530 シリーズ、9543) 100mm 電子ディスクグラインダ 9533CB、9560CV 100mm ディスクサンダ (9530S、9526BS、9520S) 100mm 充電式ディスクグラインダ GA400D (ダイヤモンドホイール使用時)	集じんアタッチメント [198413-8]		
ディスクグラインダ (9500A/N/L/H) ディスクサンダ (9500HS/NS) (ダイヤモンドホイール使用時)	集じん アタッチメント [192212-0]	ラバース リーブ 18-21 [192202-3]		

φ 28 × 5.0
(標準付属品)
[A-34229]

別販売品のご紹介

	適用電動工具	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)	
面取り・溝切り	充電式トリマ RT40D/50D	標準付属品 ダストノズルを使用	フロントカフス 38 [417766-9]	φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]

別販売品のご紹介

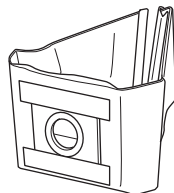
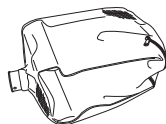
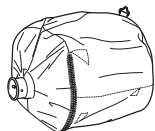
日立製電動工具と接続する場合

適用電動工具	アタッチメント			ホース (内径 mm × 長さ m)
	日立製別売集じん アダプタ (コード No)	日立製 別売ジョイント (コード No)	マキタジョイント	
集じんマルノコ C4YB、C5YA、C5YC、 C4YC、C5YB2				ジョイント H φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]
----- C4YA2	(997644)			
----- C6Y1、C8Y				
リフォーム用マルノコ C5MR	(0032-3720)			
深切りマルノコ、マルノコ C5MBY、C5UBY、C6UBY C5MVY、C5UVY、C6UVY	(329331)			
----- C5MBYA、C5MVYA、C6MBYA、C6MVYA C6MB4、C6UB4、C7MB4、C7UB4	(331942)			
----- C6SS、C7SS	(333429)			
卓上マルノコ、ベンチマルノコ、 テーブルマルノコ C6RSH、C6RSHC、C7RSHC、C7RSC C8FSE、C8FSH、C8FC、C10FSH C12LDH、C12RSH、C15FB、C10FD3	(308506)	(319986)		
----- C15FC、C10FE	(308507)			
カンナ P20	(313928)			
----- カッタ CM4YA	(0032-3918)			
----- CM5YA	(0032-4949)			
----- CM6、CM11、CM12Y				
ディスクサンダ S10SA3	(986383)			
100mm・125mm ディスクグラインダ PDA-100H、PDH-100H、G10SB1 G10YH2、G10VH、G10SH4、G10SL4 G10SP4、G10ST、G10SM3、G10MH G10B2、G10SS、G14DSL、G18DSL	(0032-3918) (0032-8499)			
----- G13SP、G13S4、G13SH4、G13SM3 G13SS、G13VH、G13YH2	(0032-3918)			
コードレス集じんマルノコ C14DYSL、C14DYSL2				
コードレスマルノコ C14DSL、C14DSL2、C18DSL2	(329063)			

別販売品のご紹介

注

- 本製品の連動コンセントに接続する電動工具は主要機能欄（3 ページ）に記載の範囲外のものはいけません。
- ダストバッグコンプリート（部品番号：A-35667）
- メッシュカバー（部品番号：152991-2）
- 紙パックセット品（5 枚入）（部品番号：A-34241）



使い方

作業前の準備

⚠ 注意

準備の際は必ず電源スイッチを「OFF」にして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと急に回り出し、事故の原因になります。

紙パック（ペーパーフィルタ）の取り付け方（モデル 451 のみ）

⚠ 警告

紙パック（ペーパーフィルタ）は確実にダストバッグジョイントに取り付けてください。

- ・ 確実にしないと粉じんが吹き出し、事故の原因になります。

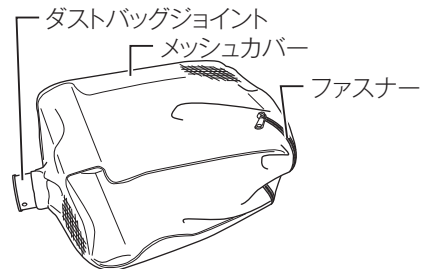
紙パック（ペーパーフィルタ）はメッシュカバーの中で、両端を伸ばして収納してください。

- ・ 紙パック（ペーパーフィルタ）が外れて粉じんが吹き出し、事故の原因になります。

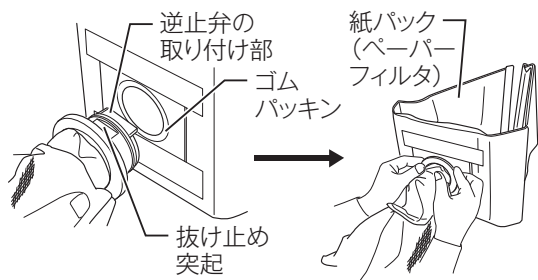
⚠ 注意

紙パックの再利用は 2～3 回を目処として、新しいものに交換してください。再利用が過剰になりますと、ファスナーが外れたり紙パックが破れて粉じんが吹き出し、事故の原因になります。

- ・ メッシュカバーのファスナーを開けて、ダストバッグジョイントの吐出口が出るようにメッシュカバーをめくり上げてください。

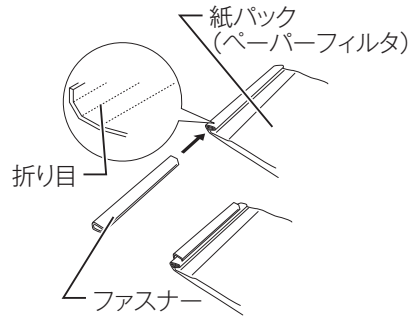


- ・ 紙パック（ペーパーフィルタ）の取り付け穴にダストバッグジョイントの吐出口を差し込んでください。なお、ダストバッグジョイントの逆止弁の取り付け部側から差し込んでください。ダストバッグジョイントのツバ部と紙パック（ペーパーフィルタ）の当て板が密着するまで両手ではさむようにして差し込んでください。このとき、ダストバッグジョイントの抜け止め突起に紙パック（ペーパーフィルタ）のゴムパッキンがしっかりと引っ掛かるのを確認してください。

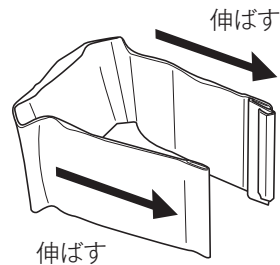


使い方

- 紙パック（ペーパーフィルタ）の開放側の端を折り目に沿って3回折り曲げてください。
- 紙パック（ペーパーフィルタ）の折り曲げ部分に紙パック（ペーパーフィルタ）用ファスナーを斜めになっている方からスライドさせて取り付けてください。

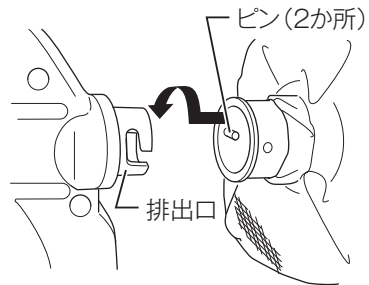


- 紙パック（ペーパーフィルタ）をメッシュカバーの中で伸ばして収納し、メッシュカバーのファスナーを閉めてください。

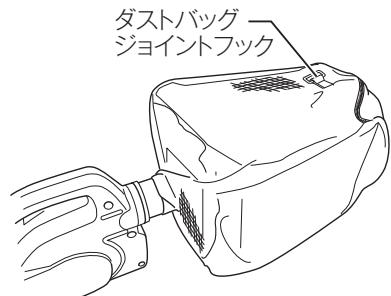


ダストバッグ・メッシュカバーの取り付け方

- ダストバッグジョイントの内側のピンと本製品の排出口の溝を合わせて差し込み、時計方向に止まるまで確実に回してください。



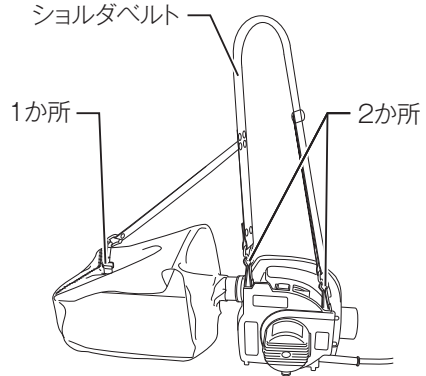
- このとき、ダストバッグ、メッシュカバーに付いているショルダベルト用のフックが上になるようにしてください。



使い方

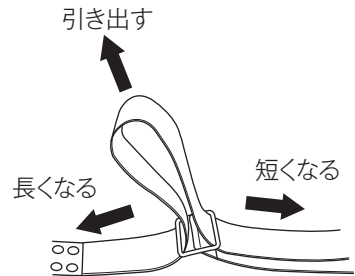
ショルダベルトの取り付け方 (モデル 451 のみ)

- ・ ショルダベルトのフックを図のように本製品側に2か所、メッシュカバー側に1か所取り付けてください。



ショルダベルトの調整

- ・ ショルダベルトの長さは、図のように引き出した後、調整したい長さに合わせて、矢印に従ってベルトを引いてください。

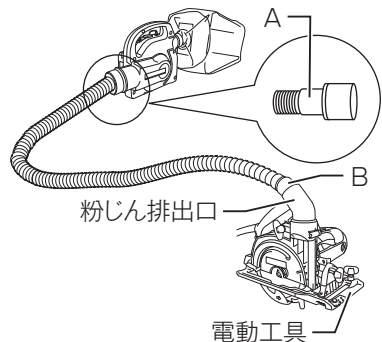


ホースの接続方法

⚠ 注意

- ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。
ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。
- ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

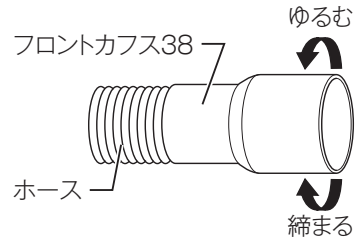
- ・ 本製品の吸込口にホースの A 側を挿入し、右方向いっぱい回して固定してください。
- ・ B 側にはカフスを取り付け電動工具の粉じん排出口に接続してください。



使い方

フロントカフスの取り替え方

- ・ 電動工具の粉じん排出口の大きさに合わせて、フロントカフスを取り替えてご使用ください。
- ・ 取り外す場合はホースを持ってフロントカフスを左に回せば取り外せます。
- ・ 取り付ける場合は右に回して止まるまでホースにねじ込んでください。

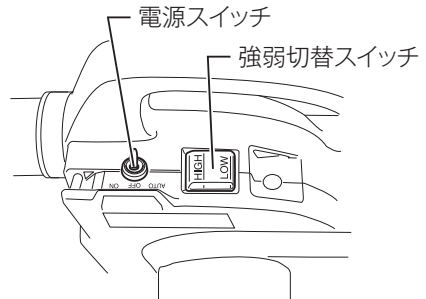


スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、電源スイッチが「OFF」になっていることを必ず確認してください。

- ・ 電源スイッチが「ON」のまま電源プラグを差し込むと急に回り動き出し事故の原因になります。
- ・ 本製品には、電源スイッチと強弱切替スイッチの2つがあります。電源スイッチは「ON」、「OFF」、「AUTO」の3つの位置があります。「ON」側を押すと運転します。「OFF」側を押すと停止します。「AUTO」は後で説明する連動用コンセントを利用するときを使用します。
- ・ 強弱切替スイッチは「LOW」側を押すと弱運転します。「HIGH」側を押すと強運転します。



使い方

連動用コンセントの使い方

⚠ 警告

連動用コンセントに接続するときは、本製品と電動工具のスイッチが切れていることを必ず確認してください。

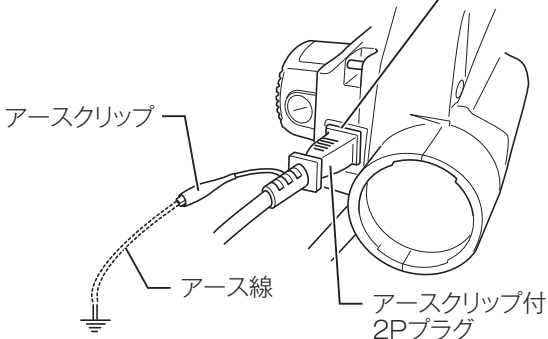
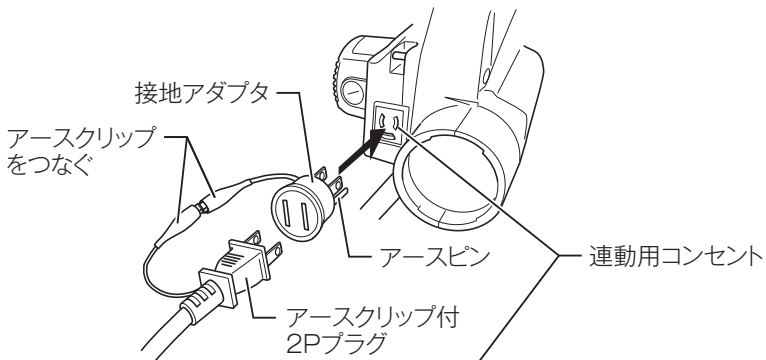
- ・ スイッチを入れたまま、接続すると、急に動き出し、事故の原因になります。シングル絶縁構造の電動工具を接続される場合は、必ず接地（アース）してください。

3 ピンプラグの場合

連動用コンセントは3 ピンプラグに対応していますので、そのままプラグを差し込んでご使用ください。

アースクリップ付 2 ピンプラグの場合

- ・ 逆接地アダプタ（別販売品 A-01208）を併用して接続するかまたはアースクリップを直接アース線に接続して接地（アース）してください。
- ・ アースクリップやアース線に異常がないか確認してください。アース線をガス管に接続しないでください。
- ・ 爆発の恐れがあります。



使い方

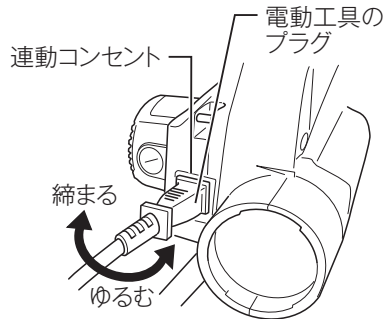
⚠ 注意

連動コンセントには強運転時 900 W、弱運転時 1,100 W を越える電動工具は接続しないでください。

- ・ コードの異常過熱や本製品の故障の原因になります。

注

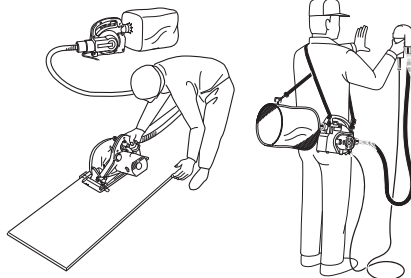
- ・ 本製品は、強運転時 100 ~ 900 W、弱運転時 100 ~ 1,100 W の範囲の電動工具と連動させて使用することができます。
- ・ 100 W 以下の工具の場合電動工具の電流を感知できず、作動しない場合があります。
- ・ 連動させる電動工具のプラグを連動用コンセントに差し込み、右へ回してプラグの抜け止めをしてください。
- ・ 本製品の電源スイッチを「AUTO」側に倒してください。
- ・ 電動工具のスイッチを入り切りすると本製品が連動して運転・停止します。なお、ホース内の粉じんを吸い込むため電動工具のスイッチを切った後も、本製品は数秒間運転し、停止します。
- ・ 電動工具のプラグを抜くときは、プラグを左へ回して抜け止めを解除してから抜いてください。
- ・ 本製品の電源スイッチを「OFF」にしてください。



使い方

作業方法

- 置いて使う場合は、平らな安定した場所に置いてご使用ください。ホースを肩ごしにお使いになるとホースが加工材や作業台などに引っ掛かりにくくなります。
- 携帯用として使用する場合は、たすき掛けするとストラップが肩から落ちにくくなります。

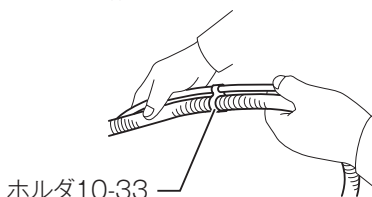


据置

携帯

ホルダの取り付け方法

- 電動工具と連動させて使用する場合は、ホースとコードがからまないようにホルダ 10 - 33 でホースと電動工具のコードを 70 ~ 80 cm の間隔で固定してください。



ホルダ10-33

粉じんの捨て方

⚠ 警告

紙パック（ペーパーフィルタ）及びダストバッグ（布製）の取り付けや取りはずし、粉じんを捨てる際には必ず本製品と電動工具両方の電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと感電や事故の原因になります。

紙パック（ペーパーフィルタ）及びダストバッグ（布製）は確実にダストバッグジョイントに取り付けてください。

- 確実にしないと粉じんが吹き出し、事故の原因になります。

⚠ 注意

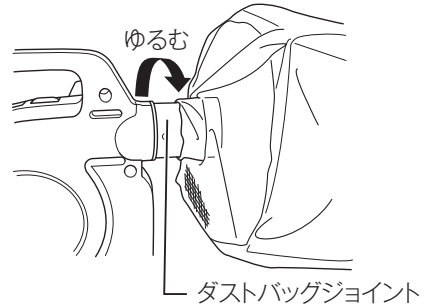
紙パック（ペーパーフィルタ）及びダストバッグ（布製）内に粉じんを溜め過ぎると粉じんが本製品内を逆流して、モータハウジングの風窓部より吹き出る場合があります。このような時は、紙パック（ペーパーフィルタ）及びダストバッグ（布製）内の粉じんを捨ててください。粉じんを捨てても逆流する場合は紙パック（ペーパーフィルタ）及びダストバッグ（布製）が目詰まりをしています。紙パック（ペーパーフィルタ）及びダストバッグ（布製）を新しいものと交換してください。

交換時期は厚さ 12 mm、幅 450 mm のサイディング材の場合、約 150 回の切断を目安としてください。

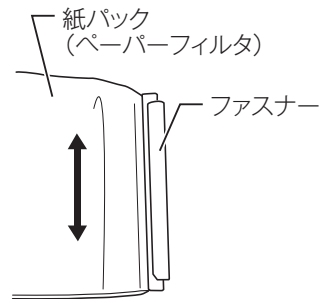
- 紙パック（ペーパーフィルタ）及びダストバッグ（布製）の目詰まりによる吸引力の低下やモータの故障の原因になります。

使い方

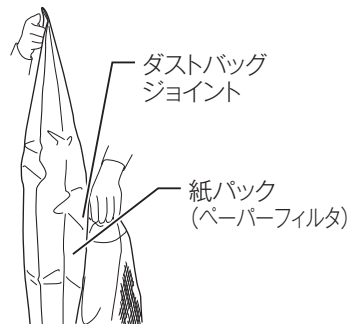
- ・ 本製品からダストバッグジョイントを左へ回して外してください。
- ・ メッシュカバーのファスナーを開けてください。紙パック(ペーパーフィルタ)が出るようにメッシュカバーをめくり上げてください。



- ・ 紙パック(ペーパーフィルタ)用ファスナーをスライドさせて外してください。



- ・ 紙パック(ペーパーフィルタ)内の粉じんを紙パック(ペーパーフィルタ)用ファスナー側から捨ててください。このとき、ダストバッグジョイントを持ち、もう一方の手で紙パック(ペーパーフィルタ)の閉じている側を持ち上げれば容易に粉じんを捨てることができます。取り付けは逆の要領で行ってください。



ダストバッグ(布製)の使い方(モデル450のみ)

- ・ 本製品からダストバッグジョイントを左へ回して外してください。
- ・ ファスナーを開けて粉じんを捨ててください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

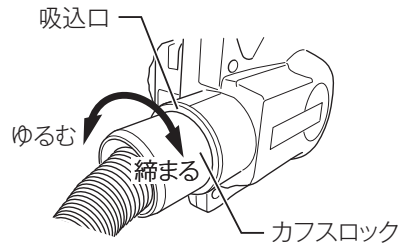
フィルタの掃除

⚠ 注意

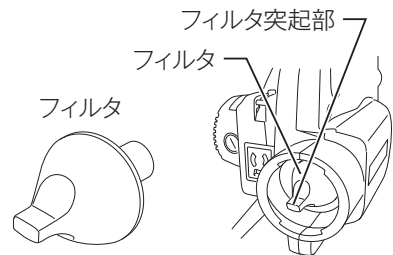
フィルタは必ず取り付けで使用してください。

- ・ 取り付けないとファン破損など、故障の原因になります。

- ・ 吸込口に取り付いているフィルタは定期的に点検・清掃してください。
- ・ 吸込み側のカフスロックを左に回し、ホースを取りはずしてください。
- ・ 吸込口の中のフィルタ突起部をつまんで引き抜いてください。



- ・ フィルタに付いているごみなどの異物を取り除き、フィルタを吸込口に取り付けてください。



⚠ 注意

本製品は粉じん専用の集じん機ですので、粉じん以外のごみ（小石、木端など）を吸い込むとファンの破損など、故障の原因になります。

保守・点検について

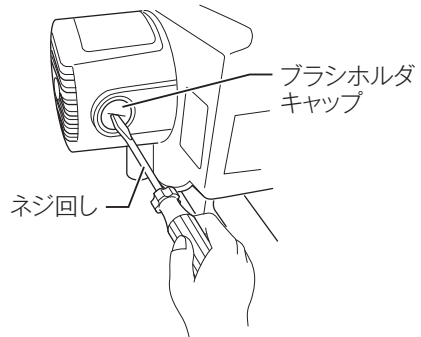
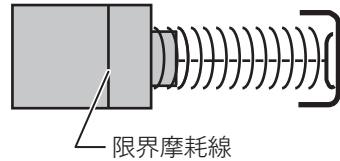
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行ってください。



本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

882030P1
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)